

- 問1 九州地方南部に位置する鹿児島県の大隅半島などには、「シラス台地」と呼ばれる火山灰が厚く堆積した地形が広がっています。この地域で肉用牛や豚などの畜産業が盛んになった地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 広大な台地をすべて森林にする計画があったが、火山ガスの影響で樹木が育たず、やむを得ず畜産に転換した。 | 2. シラスは非常に水はけが良く、水田稲作に必要な水を保持しにくかったため、土地を広く活用できる畜産が発展した。 | 3. 火山灰に含まれる特殊な鉱物資源が家畜の飼料として最適であり、周辺の県からも家畜が集まるようになった。 | 4. シラス台地は標高が高く一年中冷涼な気候であるため、暑さに弱い肉用牛の飼育に適した環境であった。 |
|---|--|---|--|
- 問2 熊本県水俣市を中心に発生した水俣病について、その被害が拡大した原因や仕組みに関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 石油コンビナートの煙突から排出された硫酸酸化物が大気を汚染し、周辺住民に激しいせきやぜんそくの症状をもたらした。 | 2. 工場から排出された窒素酸化物が光化学スモッグを引き起こし、都市部の住民に目の痛みや頭痛をもたらした。 | 3. 化学工場の排水に含まれたメチル水銀が魚介類の体内で濃縮され、それを摂取した住民に深刻な神経被害をもたらした。 | 4. 鉱山から川へ流れ出したカドミウムが農作物を汚染し、それを長期間食べた住民の骨がもろくなる被害をもたらした。 |
|---|---|---|--|
- 問3 鹿児島県の桜島周辺における降灰被害について、冬の2月には降灰が主に火口の南東方向（海側）へ広がるのに対し、夏の8月には火口の北西方向（鹿児島市街地側）へと広がることが統計的に示されています。このように、時期によって降灰の範囲が変化する要因として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 季節風の影響により、季節ごとに卓越する風の向きが変化するため | 2. 夏は気温が高いため、噴煙が上昇気流に乗って拡散されなくなるため | 3. 日本付近の上空を流れる偏西風が、季節によって完全に消滅するため | 4. 周辺を流れる日本海流（黒潮）が、季節によって流路を大きく変えるため |
|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
- 問4 鹿児島県の自然環境と産業の特色について説明した文として、適切なものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 温暖な気候を活かした促成栽培が中心であり、ピーマンやナスの生産量が日本一である一方、畜産業は小規模に留まっている。 | 2. 県内の大部分が盆地で構成されており、火山灰の肥沃な土壌を活かして、ブランド米の生産が県内農業の収益の柱となっている。 | 3. 九州山地から流れる急流を活かした水力発電が盛んで、その安価な電力を利用して沿岸部ではアルミニウム工業が発達している。 | 4. 薩摩半島と大隅半島に挟まれた湾の中に桜島という活発な火山があり、周辺の台地では肉用牛や豚の飼育が盛んに行われている。 |
|--|---|---|---|
- 問5 九州地方南部において、稲作よりも肉用牛や豚などの畜産業が盛んになった地理的な要因として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|---|------------------------------------|
| 1. 平地がほとんど存在せず、斜面を利用した果樹栽培しか行えなかったため | 2. 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため。 | 3. 年間を通して降水量が極端に少なく、大規模なため池を造ることが困難だったため。 | 4. 冬の寒さが厳しく、冷害によって米の収穫量が安定しなかったため。 |
|--------------------------------------|---|---|------------------------------------|
- 問6 千葉県、北海道、大阪府、沖縄県の4つの地域の航空貨物輸送量を比較した統計において、国内線の輸送量に比べて国際線の輸送量の割合が非常に高く、東アジアの主要都市を結ぶ中継拠点（ハブ）としての役割を果たしている都道府県はどこか、次の中から選びなさい。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 千葉県 | 2. 大阪府 | 3. 沖縄県 | 4. 北海道 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問7 沖縄県の海岸沿いで見られる、潮の満ち引きがある場所に生育する常緑広葉樹の集まりについて、波の衝撃を和らげる「天然の防波堤」としての役割を果たしている植物群の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|----------|-----------|
| 1. サンゴ礁 | 2. パナナ | 3. なつめやし | 4. マングローブ |
|---------|--------|----------|-----------|
- 問8 1990年代末から2010年にかけて、沖縄県を訪れる中国人観光客の数は474人から10,888人へと急増しました。このような変化が起きた背景にある、中国国内の経済状況の説明として最も適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 中国の経済格差が完全に解消され、すべての農村部の人々が自由に沖縄へ旅行できるようになった。 | 2. 中国のGDPが世界第1位に到達し、政府が国民全員に海外旅行を義務付ける制度を導入した。 | 3. 中国国内の農業生産が停滞したため、食料を確保するために近隣諸国へ渡航する人々が増加した。 | 4. 中国のGDP（国内総生産）が増大し、国民の生活水準が向上したことで、海外旅行を楽しむ層が拡大した。 |
|--|--|---|--|
- 問9 鹿児島県に広く分布するシラス台地において、その自然条件を背景に発展したこの地域の農業の特色として最も適切なものはどれですか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 一年を通じて温暖な気候を利用し、平坦な地形を活かして、冬でも雪が降らないことを前提とした稲の二期作が行われている。 | 2. 地盤が非常に強固で肥沃な土壌であるため、重機を用いた大規模な小麦栽培と、大都市向けの近郊農業が中心となっている。 | 3. 土地が低く水がたまりやすいため、大規模な排水設備を整えることで、日本有数の米どころとして水田単作地帯となった。 | 4. 火山灰が堆積した地層は水持ちが悪いので、稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および肉用牛などの畜産が発展した。 |
|--|---|--|--|
- 問10 九州地方の種子島において、宇宙センターの建設やサトウキビの生産といった産業が発達した要因となる、この島の地形的・気候的な背景として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 銘柄米の生産に適した広大な平野と、一年を通じて冷涼な気候が維持されていたため。 | 2. 島全体に平坦な丘陵が広がっており、大規模な施設の建設や農地の確保が比較的容易であったため。 | 3. リアス海岸が発達しており、大型船によるロケット機材の搬入や、寒冷な気候を活かした漁業が盛んであったため。 | 4. 標高の高い険しい山岳地帯が島の中央にそびえ、宇宙観測に適した気流の安定した環境があったため。 |
|--|--|---|---|
- 問11 沖縄県の伝統的な家屋において、家の周囲を石垣で囲んだり、フクギなどの防風林を植えたりする工夫が見られる主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|--------------------------|------------------------------|
| 1. 津波が住宅地に浸水してくるのを物理的に遮断するため | 2. 地震が発生した際の家屋の倒壊を石の重みで食い止めるため | 3. 台風による強い風の被害を最小限に抑えるため | 4. 冬の時期に吹く冷たい季節風が室内に入るのを防ぐため |
|------------------------------|--------------------------------|--------------------------|------------------------------|
- 問12 九州の南東部に位置する県で、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用し、ピーマンなどの野菜を通常の時期より早く出荷する促成栽培や、肉用牛の飼育を中心とした畜産が盛んな県はどこか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 高知県 | 2. 鹿児島県 | 3. 熊本県 | 4. 宮崎県 |
|--------|---------|--------|--------|